

2011年2月吉日

株式会社トヨタデジタルクルーズ

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

トヨタデジタルクルーズ、クラウド型 e-ラーニングサービス開始
- トヨタグループ向け、安価で高品質なオールトヨタクラウド環境を活用 -

トヨタ自動車系の情報通信子会社、株式会社トヨタデジタルクルーズ(本社:愛知県名古屋市 代表取締役社長:岩瀬勇二郎 以下トヨタデジタルクルーズ)は、オールトヨタクラウド環境におけるクラウド型の e-ラーニング「D.e-Learning(ディー・イーラーニング)」サービスを2011年3月1日より開始します。

「D.e-Learning」は、セキュアで高品質なオールトヨタクラウド環境上で、延べ200万人の受講実績を持つパナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社(本社:大阪府大阪市 代表取締役社長:前川一博)の e-ラーニングシステムを活用し、信頼性の高いシステムを提供すると共に、お客様の利用用途に応じた柔軟で安価な課金体系を実現します。

当社は、既に展開済みのD.e-Mail II、WebSP@CE等のクラウドサービスを通じ、今後もお客様の急激な経営環境の変化に対し、柔軟・迅速な対応を行います。

【サービスの特徴】

1. 安価な料金体系

システム利用料は固定型で200円(月額)から、利用用途にあわせて固定型、従量型2種類のプランを設定

2. 充実した教育コンテンツ

100種に及ぶ一般コンテンツに加え、トヨタグループ向けオリジナルコンテンツを500円から提供(今後も順次追加予定)

3. 豊富な機能による、お客様運用・管理コストの抑制

受講履歴の管理等充実した管理機能により、お客様の運用負担を軽減

また、クラウド型サービスによりお客様の初期投資、システム運用・管理コストを大幅に削減

4. コンテンツ移行が容易

世界標準である「SCORM2004、SCORM1.2」^(※) 準拠により容易なコンテンツ作成が可能

また、現在ご利用中のSCORM2004、SCORM1.2 準拠コンテンツの移行も可能

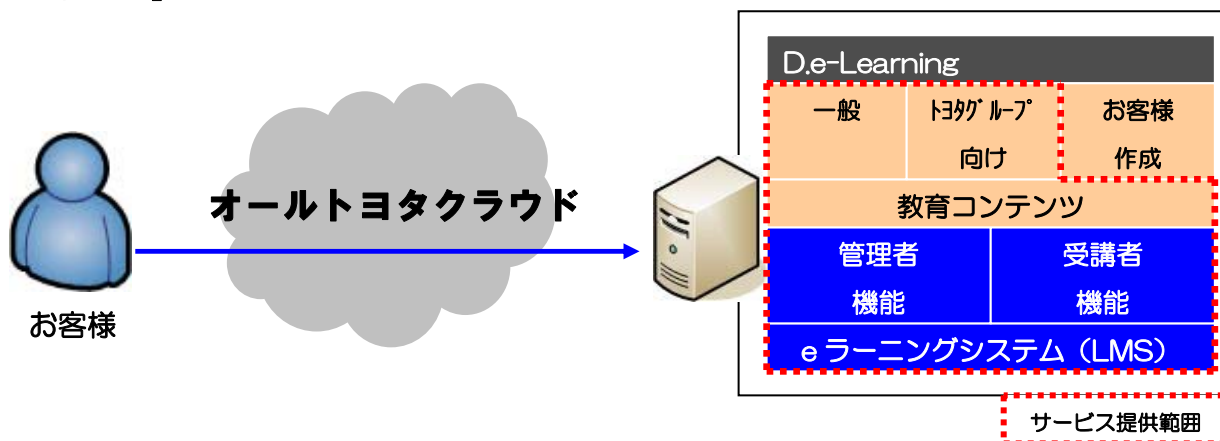
5. 安心・信頼の e-ラーニングシステム

延べ200万人の受講実績による豊富な運用経験と、お客様の声を反映した充実の機能

※ SCORM(Sharable Content Object Reference Model・スコーム)

米国・国防省系の団体ADL(Advanced Distributed Learning Initiative)が制定したe-ラーニングのプラットフォームとコンテンツの世界標準規格。学習システムやコンテンツの相互運用性を高め、低コストで高品質なe-ラーニングサービスを実現することを目的として、普及が進められている。

【サービスイメージ】



【株式会社トヨタデジタルクルーズについて】

株式会社トヨタデジタルクルーズは、トヨタグループの情報通信ネットワークの企画・構築・運用をはじめとして、グローバル化が進むグループ各社の通信ネットワークシステムを構築・提供しています。

トヨタグループのメーカー・サプライヤー・販売店などを、ひとつのネットワークで結び、アウトソーシング（データセンタなど）、EDI（データ蓄積交換）やネットワークセキュリティなどの各種サービスによって事業の効率性・安全性を提供しています。

会社名	株式会社トヨタデジタルクルーズ
設立日	1996年4月1日
代表者	代表取締役社長 岩瀬 勇二郎
資本金	8億円
所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目8番11号
従業員数	511人（2011年1月1日現在）
URL	http://www.d-cruise.co.jp/

【お客様の問合せ先】

株式会社トヨタデジタルクルーズ

第1営業部 営業代表（仕入先のお客様向け）

TEL 052-202-0355 / FAX 052-202-0319

第2営業部 営業代表（販売店のお客様向け）

TEL 052-202-0353 / FAX 052-202-0319

第3営業部 営業代表（関東以北のお客様向け）

TEL 03-5445-0781 / FAX 03-5445-0780

トヨタ営業部 営業代表

TEL 0565-31-5333 / FAX 0565-31-0234

【記者の方の問合せ先】

株式会社トヨタデジタルクルーズ

第2営業部 営業推進 G 石井

TEL 052-202-0179 / FAX 052-202-1329

第2営業部 営業推進 G 舟山

TEL 052-202-0644 / FAX 052-202-1329